ジェトロ・プノンペン事務所
2023 年 2 月 14 日作成

農業拡大を背景に農業機械の付属部品に需要増

カンボジアにおいて農業は、国民の 3 割以上が従事している基幹産業である。

政府が農業や食品加工業を、経済成長の一端を担う重要な産業として位置づけていることにより、昨今農業事業を営む法人が増加傾向にある。

今回、同国にて農業機械、付属部品の輸入販売を行っている Harvest Center Cambodia 社の Spare Part Manager、Mr. Leap Ann 氏に現在の農業機械、付属品の市場について話を聞いた。
(2023 年 1 月 19 日)

質問:まず貴社の事業概要について
答え:2014 年に設立。ドイツの最高峰の技術で作られた CLAAS 社のトラクターやコンバイン、種まき機、スペアパーツ等の付属部品などを輸入している。取り扱う機器は、メンテナンスの容易さ、多用途性、耐久性がありリーズナブルな価格であることをウリにしている。主なお客様は農業事業を営む法人、個人農家である。

首都プノンペンに会社を構え、現在は他州に支店は無い。従業員は 2 名。
製品の販売のみならず、製品販売後のメンテナンス等のアフターサービスも行っている。



Harvest Center Cambodia 社外観(Harvest Center Cambodia 社提供)

質問:プノンペン以外の販売路は
答え:現時点では、農業が盛んにおこなわれているコンポントム、タケオ、バッタンバンの

Copyright © 2023 Japan External Trade Organization (JETRO). All rights reserved.

3 つの州をメインに販売している。

その中でもプノンペンから北西約 300km に位置するバッタンバンは、カンボジアでも有数のお米の生産地であり、特に農業機械、付属部品の需要が高い。

＜農業機械市場は飽和状態、付属部品の需要拡大＞

質問:最近の製品ニーズについて

答え:カンボジアは農業国であることから、以前よりトラクターやコンバインなどの農業機械は新品、中古品に限らず需要があり、多数の企業が他国から輸入し取り扱っている。

一方で、スペアパーツ等の付属部品を取り扱う企業は、農業機械を取り扱っている企業と比較すると少数であり、その影響からか最近は農業機械よりも付属部品の売れ行きが良い。

農作物の品質を保つためにも、付属部品の交換は不可欠であり需要がある。

もし日本から価格も比較的安価な品質の良い付属部品が輸入できれば、ぜひとも検討したい。

また、これは農業機械に関することではないかもしれないが、個人農家は十分な資金が無く、農業機械や付属部品が必要でも購入できない場合が多い。クレジットやローンなどの金融サービスの需要も農業関連は高いと考えている。



Harvest Center Cambodia 社の取り扱っている農業機械(フォーバル撮影)

＜安価な価格も大切であるが、口コミが最も大切＞

質問:製品の営業方法は

答え:メインは Facebook での発信。

Copyright © 2023 Japan External Trade Organization (JETRO). All rights reserved.

しかし、一番効果的なのは家族や友人の口コミだ。良い製品、サービスを提供していれば口コミでうまくいく。カンボジア市場では、まだまだ価格重視のお客様が多いのが現状。
しかし、最近少しずつではあるが、耐久性などの品質や、メンテナンスの有無、付属品が手に入るかなどを気にするお客様が増えてきている。

<販売がゴールではない>

質問:カンボジア参入を検討する日本の中小企業へのアドバイス
答え:農業機械、付属部品の販売を検討している日本の中小企業には、まず現地に足を運んで市場調査を徹底的に行い、現地のニーズを理解することが大切とお伝えしたい。
　現地に足を運ぶことが難しい場合は、調査会社などを利用してでも当地の市場について調べることを推奨する。
　また、メール等でカタログを添付し営業をする企業があるが、実物の商品と大体の価格が分からなければ、どんなに興味関心を持っていても購入に至るのは難しい。
実際に商品を手に取ることができると、イメージが湧き購入に繋がりやすい。
　また、製品販売後のメンテナンス等のアフターフォローを大切にしているため、メンテナンスの容易さも大切となってくる。以前は、アフターフォローを気にせず製品を購入するお客様がほとんどであったが、最近では購入後のメンテナンスの有無を気にするお客様が増えつつあり、自社の社員で簡単にメンテナンスできる商品は魅力的だ。アフターフォローを行うことでお客様からの信頼にも繋がる。
　ほとんどのカンボジア企業は輸出入手続きに慣れていないため、日本からの輸入となると壁が高い。そのため、製品をカンボジアまで届けてくれるようなサービスがあると助かる。
カンボジア市場に参入希望の日本の中小企業におかれては、ショールームでの委託販売なども条件次第で可能なため、ぜひご相談いただきたい。

以上

〇作成：ジェトロ・プノンペン事務所

【レポートの利用についての注意・免責事項】
本レポートは、日本貿易振興機構（ジェトロ）プノンペン事務所が委託先 FORVAL(CAMBODIA)CO.,LTD.に作成委託し、2023 年 1 月に入手した情報に基づき作成したものです。掲載した情報は作成委託先の判断によるものですが、一般的な情報・解釈がこのとおりであることを保証するものではありません。本レポートはあくまでも参考情報の提供を目的としており、提供した情報の正確性、完全性、目的適合性、最新性及び有用性の確認は、読者の責任と判断で行うものとし、ジェトロおよび FORVAL(CAMBODIA)CO.,LTD.は一切の責任を負いません。これは、たとえジェトロおよび FORVAL(CAMBODIA)CO.,LTD.が係る損害の可能性を知らされていても同様とします。

Copyright © 2023 Japan External Trade Organization (JETRO). All rights reserved.

【レポートの内容に関するお問い合わせ先】
ジェトロ・ビジネス展開支援課　BDA@jetro.go.jp
（2023 年 4 月 1 日以降はジェトロ・海外展開支援部戦略企画課個別支援班　ODA@jetro.go.jp）

◆「海外発トレンドレポート」読後アンケートにご協力ください◆

本レポートは皆様の海外ビジネスにお役に立ちましたでしょうか？

今後の参考のため、**役立ち度アンケート**にご協力頂けましたら幸いです。

（所要時間：約1分）

Copyright © 2023 Japan External Trade Organization (JETRO). All rights reserved.